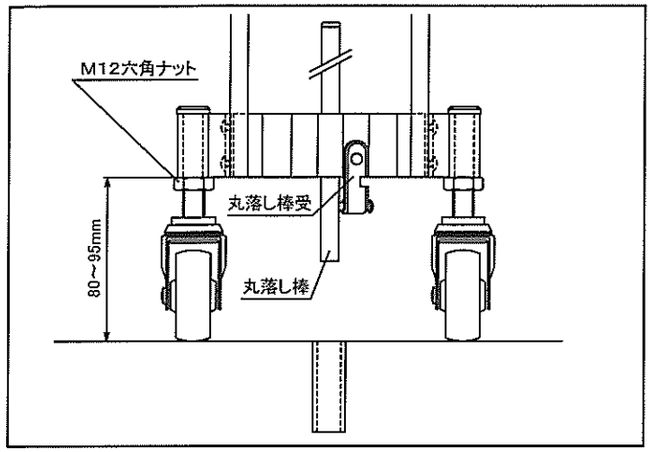
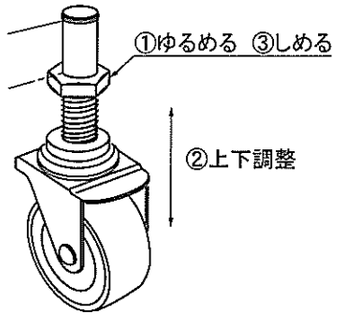
■キャスターの調整

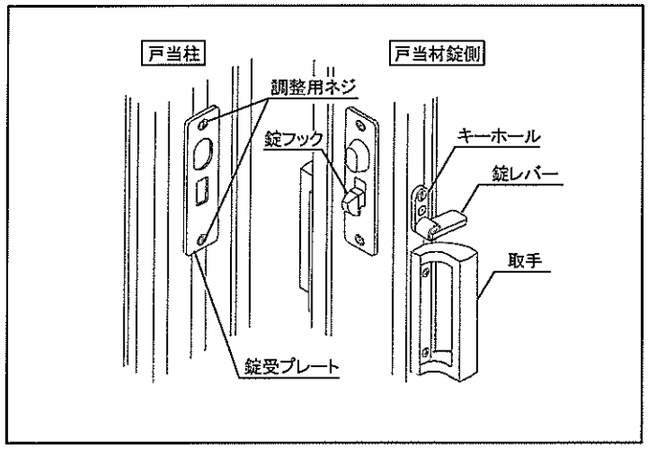


キャスターの調整は図の番号に従って行なって下さい。

調整可能範囲は80～95mmです。



■錠の操作



錠レバーを下げると、錠フックが上に上がります。
錠レバーを上下させて、施錠解錠を行なって下さい。
また施錠後、付属のキーによりロックすることもできます。

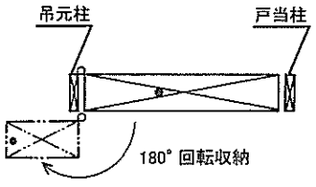
■錠の高さ調整

片開きの場合・・・戸当柱錠受部の調整用ネジで錠受プレートの高さ調整を行なって下さい。

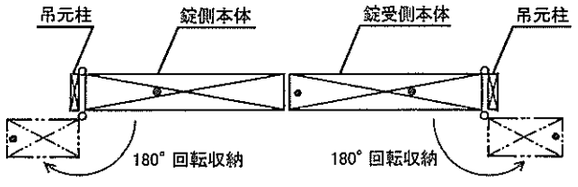
両開きの場合・・・柱ヒンジの高さとキャスターの高さを調整し、錠側本体と錠受側本体の高さをそろえて下さい。

■落し棒受パイプの埋設位置

●片開きタイプ



●両開きタイプ



※ 落し棒受パイプは、全閉した位置(錠側本体先頭部は除く)および回転収納した位置(先頭部のみ)に埋設して下さい。
※ 落し棒数はサイズにより異なります。裏ページの「サイズ及び寸法表」を参照して下さい。

DA-08-1

株式会社 ダイケン
本社/大阪市淀川区新高2-7-13 TEL.(06)6392-5321
http://www.daiken.ne.jp

札 幌 (011)232-3017
盛 岡 (019)648-2220
仙 台 (022)235-4380
埼 玉 (048)667-9381
千 葉 (043)489-1481
東 京 (03)3633-6551
東京西 (042)567-1338
神奈川 (045)316-3901
静 岡 (054)237-5375
名古屋 (0586)77-7561
大 阪 (06)6392-5556
岡 山 (086)297-9100
広 島 (082)294-9181
福 岡 (092)935-9731

アルミ伸縮門扉
ラクロス７型 AEG7型

この度は、伸縮門扉"ラクロス７型 ＡＥＧ７型"をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本体は、左右兼用タイプです。
末長くご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みの上で、正しい取付施工をお願いいたします。

施工完了後この説明書は、お使いになるお客様にお渡しください。

⚠施工される方へのご注意

- 商品の施工については、必ず取扱説明書に従ってください。この取扱説明書は、お使いになるお客様にお渡しください。
- 扉走行床面は、水平に仕上げてください。
- 施工完了後は、扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 本品の改造、変更はしないでください。

⚠お使いになるお客様へのご注意

- 人身事故や財産への損害を未然に防止するため、記載内容に十分注意してお読みください。
- 扉の開閉は、必ず引き手を持って人や物などの障害物が無いことを確認してから操作してください。
- 開閉時に手足や衣類を挟まないよう十分注意して操作してください。
- 扉の上に物を載せたり、引っかけたり、むやみに揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 通常使用されない場合には、必ず施錠してください。また、落とし棒も同時におろしてください。
- 開閉時には、必ず落し棒を上げてから操作してください。
- 強風時にはロープ等で固定してください。扉が移動してケガや事故の原因となります。
- 扉の近くで火気を使用しないでください。

お手入れのお願い

- 落とし棒受け、キャスターの走行面にゴミ、砂、雨水がたまらないよう定期的に清掃してください。
- ご使用状況によりネジ類がゆるむことがありますので、定期的に締め直してください。
- 可動部にこすれ音が発生した場合は、市販の潤滑油などを塗布してください。
- 扉の汚れは放置せずに下記を目安に清掃してください。

(１)お手入れの回数

アルミの腐食を防ぐためには、定期的に水洗いをすることが効果的です。
右表を参考にお手入れしてください。

地域別お手入れ回数目安

地 域	回 数
臨海工業地帯	年に2～3回
工業・商業・温泉地帯	年に2回
海岸・街道地帯	年に1～2回
田園・山間地帯	年に1回

(２)お手入れ方法

〈普通の汚れの場合〉
ほこり・チリなどを取り除き柔らかい布やスポンジを用いて水洗いした後、から拭きしてください。

〈落ちにくい汚れの場合〉
中性洗剤をぬるま湯で薄め、柔らかい布やスポンジを用いて汚れを落としてください。次に、洗剤が残らないように真水で洗い流し、その後十分から拭きしてください。

〈腐食を含む著しい汚れの場合〉
スコッチブライト(住友スリーエム)等で、腐食部分を軽くこすり汚れを取り除き、水洗いおよびから拭き後、各製品にあった塗料で補修してください。

〈ペンキ等の汚れの場合〉
ペンキ・グリース・油などが付着した場合は、灯油やエチールアルコールで部分拭きをし、その後中性洗剤および真水で洗い流してください。

ご注意

1. 酸性洗剤・アルカリ性洗剤・シンナー・ベンジンなどは、腐食の原因となりますので、使用しないでください。
2. 金属ブラシ・紙やすり・スチールウールなどは、アルミ表面をいためますので、使用しないでください。

修理サービスについて

- 製品に異常が生じた場合は、取付をされた施工店、販売店または、お近くの弊社各営業所にご相談ください。
- 修理を依頼されるときは、下記内容についてお知らせください。

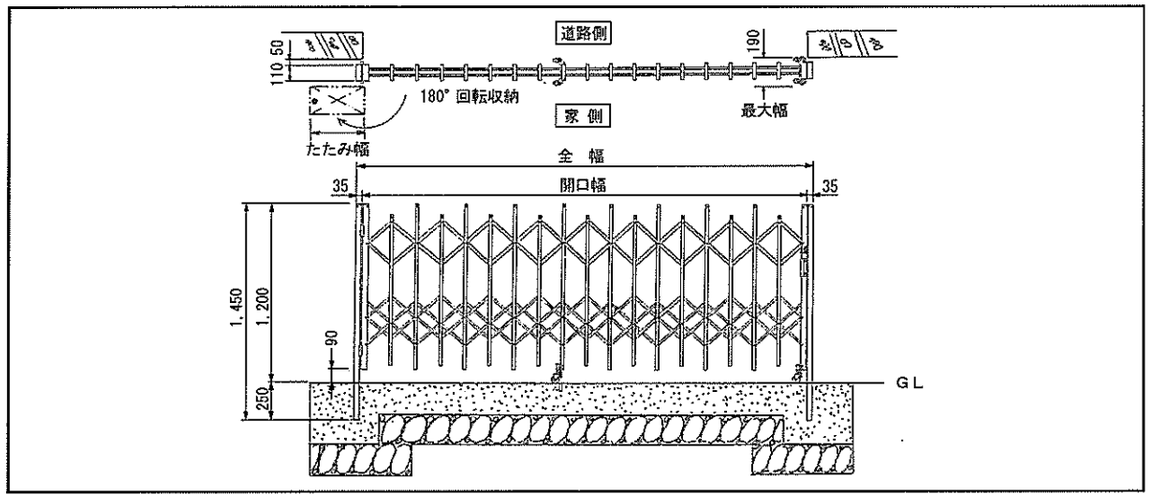
1. 商品名
2. 故障の状況、発生日
3. 施工日
4. 施主様のご氏名、ご住所、お電話番号

■サイズ及び寸法表

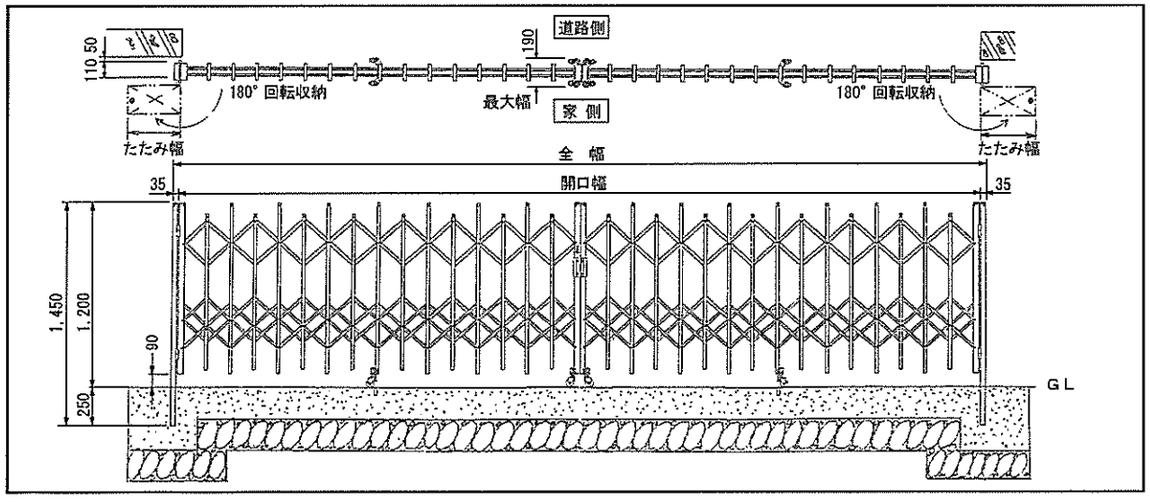
サイズ		全幅(mm)	開口幅(mm)	たたみ幅(mm)	適用全幅(mm)	梱包数	キャスター数	落し棒数
片開きタイプ(S)	14S	1,400	扉を回転すれば全幅−70	210	～1,450	1	1	1
	17S	1,700		250	1,450～1,780	1	1	1
	20S	2,000		290	1,780～2,110	1	2	2
	24S	2,400		330	2,110～2,440	1	2	2
	27S	2,700		370	2,440～2,770	1	2	2
	30S	3,000		410	2,770～3,100	1	2	2
	34S	3,400		450	3,100～3,430	1	2	2
	37S	3,700		490	3,430～3,760	1	2	2
	40S	4,000		530	3,760～4,090	1	3	3
	44S	4,400		570	4,090～4,420	1	3	3
両開きタイプ(W)	28W	2,800	扉を回すれば全幅−70	210×2	～2,830	1	2	2
	34W	3,400		250×2	2,830～3,490	1	2	2
	40W	4,000		290×2	3,490～4,150	1	4	4
	48W	4,800		330×2	4,150～4,810	1	4	4
	54W	5,400		370×2	4,810～5,470	1	4	4
	60W	6,000		410×2	5,470～6,130	1	4	4

■施 工 図

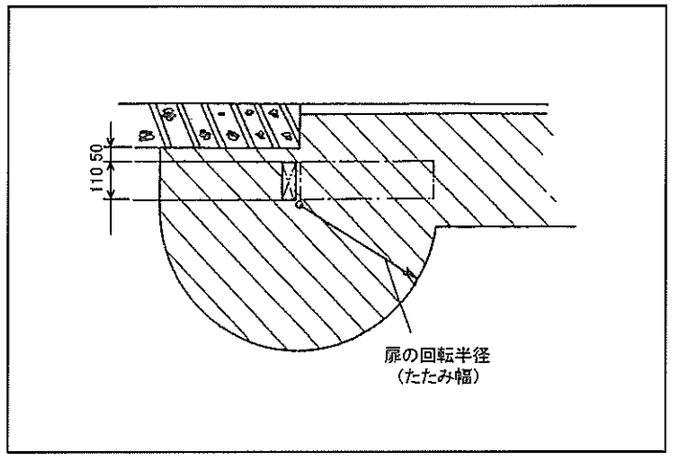
●片開き



●両開き

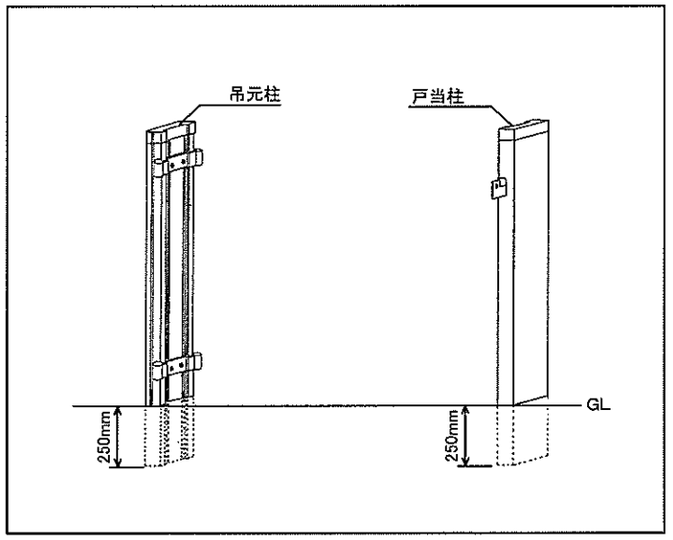


■床面の仕上

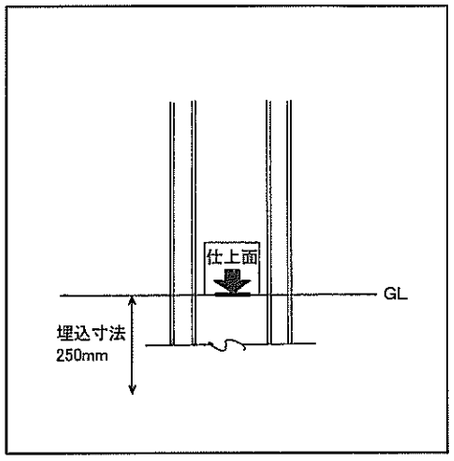


キャスター走行面は、フラットに仕上げて下さい。
また、扉の回転半径分(たたみ幅)もフラットに
仕上げて下さい。

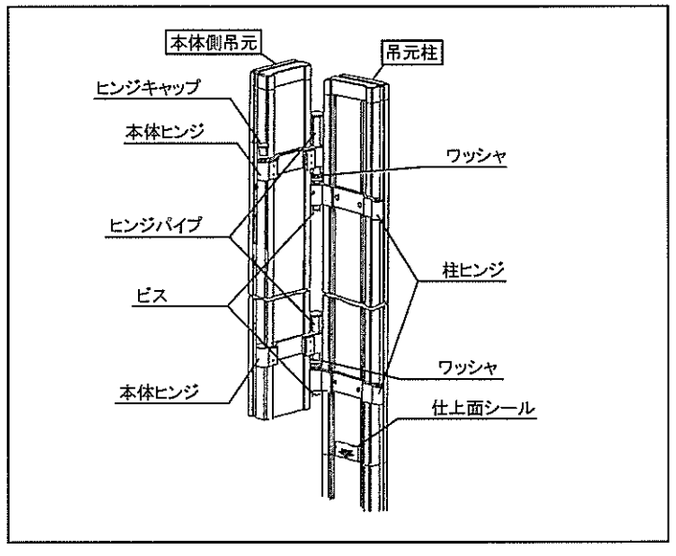
■柱の埋込



柱の埋込は水平・垂直・位置・方向を確かめた上で、
コンクリートを仕上面位置に仕上げて下さい。



■本体と柱との連結



本図は外観右吊元の場合を示します。
外観左吊元の場合は勝手違いに取り付けて下さい。

①ヒンジパイプのビスをはずし、本体ヒンジから
ヒンジキャップを抜き取ります。
②本体ヒンジにヒンジパイプを差し込みます。
③ヒンジパイプにワッシャを通し、柱ヒンジに差し
込みます。
④ヒンジパイプにはずしたビスを取り付けます。
⑤本体ヒンジの使用しない穴の方に、抜き取った
ヒンジキャップをつめ込んで下さい。

※本体吊元と吊元柱の連結は回転収納を考慮し
片側のみです。